

平成27年度学校評議員活動概要

活動時期	活動概要(意見聴取の概要、参加評議員数、対応方針等)
H27.6.20	<p>8名の出席(評議員5名、学校3名)</p> <p>概要説明</p> <p>ア、昨年度は年度途中で生徒数が1名減となった。</p> <p>イ、教職員の異動で常勤2名減、非常勤1名減となった。</p> <p>ウ、部活ではテニス、バレーボール、ゴルフ、囲碁で全国大会出場を決めた。</p> <p>エ、今年度は305名の生徒でスタートする。</p> <p>オ、入試制度の改革で推薦入試を取りやめた。これにより、募集にどのように影響するか心配したが、人数も概ね確保できたし、生徒の質も良かった。</p> <p>カ、本校は伝統校にはなれない。進学校から名門校となるべく学校の努力目標である「一步一步前進」を実践したい。</p> <p>キ、海外留学を希望する生徒が増えてきた。</p> <p>ク、募集広告に関してマスコミとうまく付き合っていく。</p> <p>ケ、学校の強力な応援団として、同窓会にテコ入れし、組織の活性化を図る。</p> <p>コ、国際教育に力を入れ、ハワイやタイの学校と交流を進めていく。</p> <p>サ、近い将来には生徒一人ひとりにタブレットを持たせ、授業で活用できるようICT教育の促進を図る。</p> <p>シ、文科省の打ち出す新テストに備え勉強面だけでなく、部活動やボランティアなどにも積極的にかわるような指導体制を図る。</p> <p>学校評議員より意見</p> <p>ア、生徒の情報管理体制は万全か。</p> <p>イ、創立28年も立派な伝統なのでそれを大切に、進学校として頑張ってもらいたい。</p> <p>ウ、18歳選挙権について学校は偏った教育とならないようにしてほしい。</p> <p>エ、卒業生の繋がりは強いと聞く。卒業生も社会の中核に入って来る歳になり期待しているが、どのような方面で活躍しているか。</p> <p>オ、部活動で外部指導者の活用はどうか。</p> <p>カ、自転車通学について北斗の現状はどうか。道路交通法改正による罰則化もあり指導を徹底してほしい。</p>
H28.3.12	<p>9名の出席(評議員5名、学校4名)</p> <p>概要説明</p> <p>ア、入試制度を変更した2年目の募集は大変苦戦した。いろいろな原因があると思うがオープンキャンパスの持ち方や小学校との関係を見直すことも必要と考えている。</p> <p>イ、在校生の弟妹が減っているのも一因だし、郡部の入学者が増えた反面米子市内が大幅に減ったことも分析せねばならないと考えている。</p> <p>ウ、特定の校区が減っているのも気になるが、米子市全体の小学生の減少を考えると善戦しているともいえる。</p> <p>エ、特定の部活動(バレーボール・剣道)で何とか数を補っているのが現状である。</p> <p>オ、国の制度が変わり、中高一貫校本校は存続が危ぶまれる。</p>

カ、少子化による公立校の統廃合や学級減の波は確実に私学にも及び、そのなかで私学の定員と実員の問題は私学審議会で審議されると思う。

学校評議員よりの意見

ア、私学の独自性を保った上での定員と実員の議論が必要ではないか。

イ、少子化の中で公立の小中困り込みがますます強くなっているのではないか。

ウ、県内の経済情勢も生徒募集に大きく影響していると思う。県内の人手不足は深刻で、関西地区の学生は半分が関西に留まり、半分は関東に出てしまい地元に戻ってこない。

エ、北斗は高校入試を本格的に実施することを考えないのか。

オ、北斗は進学校として出口保障をしっかりやるのが募集にとって大切ではないか。

カ、親として子どもの気持ちを尊重してしまい勝ちだが、今後小中一貫の流れは進んでくるのではないか。

キ、民間企業でも会社の統合は大変難しい。

ク、ターゲットはあくまでも子どもととらえ、子どもへアピールする工夫をもっと考えないとだめだし、やはり北斗は英語教育と理科教育を強化していくことが必要ではないか。

ケ、北斗の ICT の導入状況を知りたい。